

岡山県医師会消化管検診研究会講演会

日時:令和元年8月31日(土)14:00~17:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

開会挨拶 岡山県医師会 会長 松山 正春

講演Ⅰ 14:05~15:20(質疑応答を含む)

演題「水戸市の対策型胃内視鏡検診の取り組みと目指しているもの」

講師:茨城県メディカルセンター

消化器・内視鏡センター長 齋藤 洋子 先生

対策型がん検診は、有効性の確立した手法を用いて正しく行うことで死亡率減少効果を期待した公共的な施策として実施されるので、地域住民に不利益がないように、内視鏡検診一次医療機関における診断能の均一化が求められる。この作業がいつまでもなく精度管理体制の構築である。

水戸市では2011年から基準撮影法を定め胃がんリスク層別化検査を併用し、全例ダブルチェックとした内視鏡検診を開始した。また、2013年から診断名とは別に背景胃粘膜を記載し、その診断は「胃炎の京部分類」を参考にしている。2016年からは対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアルに準じ、「1胃がんなし(*H.pylori*未感染)」、「1胃がんなし(*H.pylori*感染胃炎)」と背景粘膜別に記載している。*H.pylori*感染胃炎の割合は年齢階級別で違い、今後は若年層に対しては血清を用いた胃がんリスク層別化検査の有効活用、高齢層に対しては体位変換が不要の内視鏡検診の普及が望まれる。

講演Ⅱ 15:30~16:45(質疑応答を含む)

演題「対策型内視鏡検診を含めた胃がん検診における基準化の重要性」

講師:公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター

消化器内科 部長 小田 丈二 先生

- ・対策型内視鏡検診における撮影の基準化の重要性について
- ・内視鏡検診の問題点について
- ・X線検診の必要性について

※日医生涯教育講座単位：3単位

講演Ⅰ 11 予防と保健 0.5単位 12 地域医療 1単位

講演Ⅱ 7 医療の質と安全 1単位 11 予防と保健 0.5単位

生涯教育チケット帳を持参お願いいたします。

また、日本内科学会認定総合内科専門医更新の2単位(予定)が認定されます。

※本講演会は、「岡山県消化管精密検診施設」更新に関わる講演会(年1回出席)に認定されていますので消化管精密検診委嘱施設の方は聴講をお願いします。

会員施設のコ・メディカルの方も奮ってご参加下さい。講演Ⅰ、講演Ⅱとも講話後、質疑応答を受けます。

※託児希望の方は岡山県医師会HPより生涯教育⇒託児申込書をダウンロードをして8月23日(金)までFAXでお申込をお願いします。FAX 086-251-6622

災害、天候不順の場合、中止することがあります。その場合はガイダンスにてお知らせいたしますので086-230-7180へお掛けください。

令和元年 7 月 25 日

岡山県診療放射線技師会長 殿

公益社団法人岡山県医師会

会 長 松山 正春

副会長 大原 利憲

(公印省略)

岡山県医師会消化管検診研究会講演会の案内について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は県医師会の会務並びに事業にご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さてこのたび、県医師会では胃がん検診の講演会を行いますので参加の程お願い
します。

ご存知の通り胃がんの対策型検診に 4 年前より内視鏡検診が認められました。岡山
県でも内視鏡検診を行う市町村が増えてきております。しかし、内視鏡検診を行うには
多くの課題があり実施できない市町村もあり、日本における胃がん検診は X 線、内視
鏡の両方が必要なことは言うまでもありません。今回の講師は胃がん検診学会の理事
であり自らも胃がん検診事業に携わっておられる齋藤 洋子先生を講師に迎えており
ます。胃がん検診に精通している齋藤先生の講演は実践的であり多くお教え頂けると
思っております。また、小田 丈二先生の講演は胃がん検診における X 線検診のあり
方、内視鏡検診の基礎、実践をお話いただく予定です。また、それぞれの問題点等
についてもご講演を頂きます。

放射線技師の方々にとって内視鏡検診を知ることはとても重要であり、今後の胃が
ん検診あり方を勉強する上でとても有益な講演になると思っております。是非、会員
の方々にお知らせ頂き多数のご参加をお願いいたします。当日は質問も自由に出来ま
すので宜しくお願い致します。

参加費は無料です。

講演会のプログラムも同封いたしますのでよろしく願いいたします。

なお、駐車場は有りませんので当日公共交通機関をご利用お願いいたします。